（別記）

令和８年度北斗市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

経営形態は、水稲と畑作、水稲と施設園芸が中心となっているが、畑作や施設園芸の単独の経営も増加している。

担い手の多い地域においては徐々に農地の集積が進んでいるが、担い手が不足する地域での高齢化による離農により、遊休農地化が目立つ。水田生産力を維持・向上すべく、水田をフル活用しながら担い手への農地集積を積極的に推進していく必要がある。

そのほか、当市では様々な野菜及び花卉、大豆等の畑作物の作付も行われており、幅広く支援が必要となる。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

現在、当市では小麦・大豆等の畑作物や高収益作物への転換を促している。農産物の価格は安定せず、資材や燃料が高騰しているため付加価値の向上を図る必要がある。主力となる作物の作付面積拡大や品質向上を推進し、厳しい状況に対応していく。輸出や加工等により収益力を強化していく必要性があるなか、農業者の多数が農業協同組合に農産物を出荷していることや実需者が不足しているために取り組みが少ない現状である。販路を拡大するための環境づくりが必要であると考えている。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

現在、当市では畑作物と水稲の輪作を行う土地利用型の大規模農家は少なく、耕作者が分散しているためブロックローテーションに適していない地域も多い。今後はブロックローテーションを見据えた農地の集積を促すことが必要になる。施設園芸を行う農地や水稲の作付けが困難な農地については畑地化を促していく。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

北海道が示す生産の目安を遵守し、需給や米価の安定を目指すとともに、土壌診断や適期の播種による品質向上、直播栽培や施肥管理の実施による生産コストの削減をめざす。

（２）備蓄米

需要に応じて生産。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

需要に応じて生産。

イ　米粉用米

需要に応じて生産。

ウ　新市場開拓用米

需要に応じて生産。

エ　WCS 用稲

需要に応じて生産。

オ　加工用米

交付金の対象外となった主食用米に代わる転換作物として位置づける。直播栽培や密苗栽培による生産コストの削減により、水稲作付面積の維持を図る。

（４）麦、大豆、飼料作物

現状、推奨されるブロックローテーション体系を築ける農業者は麦・大豆等の畑作物を作付けする担い手であることが多いため、今後、輪作体系を確立しながら規模拡大を図る。特に大豆については、弾丸暗渠等の排水対策を積極的に行い、品質の向上を目指す。飼料作物については子実用とうもろこしの取組を推進し、今後、転作体系の選択肢になるよう支援を図る。

（５）そば、なたね

そばについては、地域の実需者との契約に基づき、排水対策等の基本技術を徹底し、安定供給を目指しつつ作付面積を維持・拡大する。

（６）地力増進作物

現在、地力増進作物の取組については環境保全目的のものが多いが、次期作の生産性向上を目的とした前後作緑肥や休閑緑肥の取組に対して加算措置を行う。品種についてはヘアリーベッチ、クリムソンクローバー、ヘイオーツ、ソルガムを位置づける。

（７）高収益作物

以下の作物を振興作物とし、作付面積の維持・拡大を図る。

長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、レタス、アスパラ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、さやえんどう、大根、ブロッコリー、ばれいしょ（生食・加工用）、ヤーコン、キャベツ、玉ねぎ、山芋、さつまいも、ピーマン、パセリ、ズッキーニ、にら、パプリカ、かぶ、小豆、トマト、きゅうり、ハウスねぎ、露地ねぎ、いちご、ウド、カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストランチア、キク、キキョウ、ヒメヒマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シャクナゲ、サツキ、アザレア、スイセン、バラ、ワレモコウ、スターチス、カラマツ、トドマツ、スギ、桜、イチイ、ブナ

５　作物ごとの作付予定面積等　～　**８　産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	897.9		898.3		830	
備蓄米					90	
飼料用米	2.8		2.8		12	
米粉用米	1.9					
新市場開拓用米	34.1		217.8		111	
WCS用稲	3.1		3.1		1.7	
加工用米	160		158.1		136.5	
麦	69.7		62.1		105	
大豆	129.4		121		155	
飼料作物	163.9		178		150	
・子実用とうもろこし	15.6		17		14	
そば					0.9	
なたね						
地力増進作物	7.4		0		9	
高収益作物	145.4		137.1		247	
・野菜	139.1		130.3		224	
・花き・花木	5.8		6.2		18	
・果樹						
・その他の高収益作物	0.5		0.6		5	
その他						
・〇〇						
畑地化	70.2		16.4		86.6	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	トマト、キュウリ、ハウスねぎ	地域振興作物助成	作付面積	20.8ha	55.0ha （目標年R8）
2	キュウリ	キュウリ作付拡大助成	作付面積	0.0ha	1.5ha （目標年R8）
3	・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、レタス、アスパラ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、さやえんどう、大根、ブロッコリー、ばれいしょ（生食・加工用）、ヤーコン、キャベツ、玉ねぎ、山芋、さつまいも、ピーマン、パセリ、ズッキーニ、にら、パプリカ、かぶ） ・穀類（小豆） ・露地花卉（カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストランチア、キク、キキョウ、ヒメヒマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シャクナゲ、サツキ、アザレア、スイセン、バラ、ワレモコウ、スターチス） ・種苗（カラマツ、トドマツ、スギ、桜、イチイ、ブナ）	地域振興作物助成	作付面積	34.1ha	87.0ha （目標年R8）
4	・野菜（いちご、ウド） ・施設花卉（カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストランチア、キク、キキョウ、ヒメヒマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シャクナゲ、サツキ、アザレア、スイセン、バラ、ワレモコウ、スターチス）	地域振興作物助成	作付面積	1.3ha	8.0ha （目標年R8）
5	露地ねぎ	地域振興作物助成	作付面積	61.4ha	97.0ha （目標年R8）
6	飼料作物（WCS用稲、飼料用米を除く）	飼料作物作付加算	作付面積 10aあたり収量 取組面積 10aあたり収量	148.3ha 1.35ｔ 148.3ha 1.35ｔ	150.0ha 1.35t 150.0ha 1.35t （目標年R8）
7	露地ねぎ	露地ねぎ輪作加算	作付面積 規格品出荷比率	6.3ha 76.4%	10.0ha 85.0% （目標年R8）
8	そば	そば作付助成	作付面積 10aあたり収量	0.0ha 0.0kg	0.8ha 78.0kg （目標年R8）
9	飼料作物（WCS用稲、飼料用米を除く）	耕畜連携	作付面積 取組面積	148.3ha 10.3ha	150.0ha 10.0ha （目標年R8）
10	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡大助成	作付面積	0.7ha	111.0ha （目標年R8）
11	子実用とうもろこし	子実用とうもろこし作付拡大加算助成	作付面積 10aあたり収量	15.6ha 910kg	14.0ha 720kg （目標年R8）
12	小麦 白大豆	畑作物輪作体系加算	作付面積（大豆・小麦）	206.6ha	260.0ha （目標年R8）
			10aあたり収量（小麦）	353.4kg	370.0kg （目標年R8）
			10aあたり収量（大豆）	194.2kg	220.0kg （目標年R8）
13	地力増進作物（ヘアリーベッチ、クリムソンクローバー、ヘイオーツ、ソルガム）	地力増進作物作付拡大加算助成	作付面積	1.8ha	9.0ha （目標年R8）
14	新市場開拓用米（複数年契約分）	新市場開拓用米取組拡大助成（複数年契約）	作付面積	1.0ha	111.0ha （目標年R8）

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：北斗市農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成	1	26,000	トマト、キュウリ、ハウスねぎ	対象作物の作付、販売
2	キュウリ作付拡大助成	1	8,000	キュウリ	前年度、キュウリを作付けしていない圃場でのキュウリの作付け
3	地域振興作物助成	1	13,000	・野菜（長いも、とうもろこし、なす、かぼちゃ、枝豆、ほうれん草、白菜、人参、レタス、アスパラ、みつば、ささぎ、小松菜、水菜、ごぼう、春菊、みょうが、さやえんどう、大根、ブロッコリー、ばれいしょ（生食・加工用）、ヤーコン、キャベツ、玉ねぎ、山芋、さつまいも、ピーマン、パセリ、ズッキーニ、にら、パプリカ、かぶ） ・穀類（小豆） ・露地花弁（カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストランチア、キク、キキョウ、ヒメヒマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シャクナゲ、サツキ、アザレア、スイセン、バラ、ワレモコウ、スターチス） ・種苗（カラマツ、トドマツ、スギ、桜、イチイ、ブナ）	対象作物の作付、販売
4	地域振興作物助成	1	25,000	・野菜（いちご、ウド） ・施設花弁（カーネーション、トルコギキョウ、アルケミラ、ユリ、ソリダゴ、ヒマワリ、アストランチア、キク、キキョウ、ヒメヒマワリ、パンジー、ツツジ、アルストロメリア、サンダーソニア、シャクナゲ、サツキ、アザレア、スイセン、バラ、ワレモコウ、スターチス）	対象作物の作付、販売
5	地域振興作物助成	1	17,000	露地ねぎ	対象作物の作付、販売
6	飼料作物作付加算	1	1,000	飼料作物（WCS用稲、飼料用米を除く）	対象作物の作付、自家利用及び畜産農家への供給、心土破砕、堆肥施用
7	露地ねぎ輪作加算	1	8,000	露地ねぎ	前年度、露地ねぎを作付けしていない圃場での露地ねぎの作付け
8	そば作付助成	1	20,000	そば	対象作物の作付け、販売、心土破砕、心土改良
9	耕畜連携	3	13,000	飼料作物（WCS用稲、飼料用米を除く）	対象作物の作付け、該当圃場への放牧、堆肥散布
10	新市場開拓用米取組拡大助成	1	20,000	新市場開拓用米	対象作物の作付け、販売
11	子実用とうもろこし作付拡大加算助成	1	15,000	子実用とうもろこし	対象作物の作付け、輪作
12	畑作物輪作体系加算	1	5,000	小麦、白大豆	対象作物の作付け、ブロックローテーション
13	地力増進作物作付拡大加算助成	1	20,000	地力増進作物（ヘアリーベッチ、クリムソンクローバー、ヘイオーツ、ソルガム）	対象作物の作付け、すき込み
14	新市場開拓用米取組拡大助成（複数年契約）	1	10,000	新市場開拓用米（複数年契約分）	対象作物の作付け、販売

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。